

大雨が降ったときの危険を知ろう！

～伊賀市立三訪小学校における防災教育～



水防災意識社会
再構築ビジョン

木津川上流河川事務所

防災教育の取り組み強化の一環として、文部科学省（教育委員会・小学校）と国土交通省（木津川上流河川事務所）が連携・協力して伊賀市立三訪小学校で河川・土砂災害について防災教育の授業を行いました。（H29年度に引き続き2回目の防災学習）

昨年10月の台風21号洪水を経験した児童たちに、「大雨が降ったときに身を守る行動」について学習し、災害が起こる前に安全な場所へ避難することの大切さを学んでもらいました。

- 日時：平成30年7月18日（水）9:40～10:30（2時限目）
- 場所：伊賀市立三訪小学校 4年生（13名）
- 協力：木津川上流河川事務所、伊賀市教育委員会

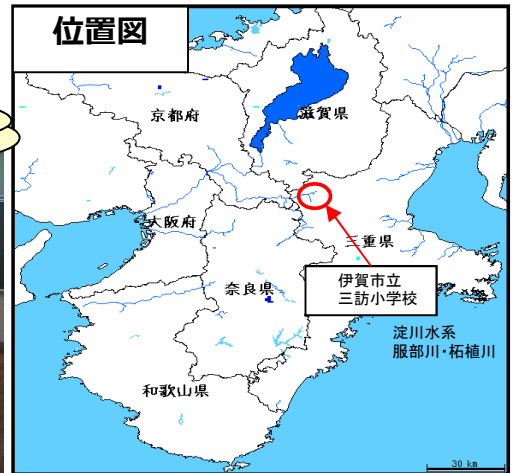
Step1: 大雨による災害を知る

台風21号洪水を踏まえて学習



台風21号洪水、土砂災害の様子を地域の写真を交え説明

洪水災害・土砂災害事例の紹介



Step2: 大雨による災害からの避難と避難に役立つ情報を知る

クイズ形式による学習



避難について〇×クイズ

【問題】(〇×クイズ)
・避難所とは災害が起きそうなときに逃げ込める場所である？

【正解】〇
小中学校や公民館などが避難所になります。

避難勧告や避難指示についても勉強しました。



Step3: 状況に応じて避難が異なることを知る

グループ討議



状況によって避難するかどうか、考えて各自の意見を発表



状況に応じて避難が異なることを学ぶ

学習のまとめ

【大雨が降った時に身を守る行動】

- 災害が起こるまえに安全な場所に避難する。
- 避難所まで行くことが、危険なときは、高い丈夫な建物へ避難する。
- 自宅の2階以上でがけや斜面からなるべく離れた場所へ避難する。

授業を受けた児童の感想

- ・土砂災害や川のみずがあふれたとき、どう行動すれば良いのかが分かった。
- ・避難勧告、避難指示のどちらが危ないか初めて知った。
- ・災害のことはよく知らなかったから、今日の勉強でいっぱい知れて良かった。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
木津川上流河川事務所 調査課
〒518-0723
三重県名張市木屋町812-1
TEL 0595-63-1611（代）

人々の暮らしを守り 自然を守り 川とともに生きる
木津川上流河川事務所

